

若者が有機コーヒーで国づくりに貢献

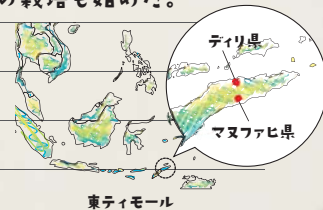
Republic of Timor-Leste 東ティモール



貧しい農家の多い東ティモールでは、70%の農家が肥料なしで農業を営んでいるため、生産性が低い。しかし、首都のティリ市内の家庭菜園や山村地帯のコーヒー生産農家では、堆肥を使った有機農業が盛んだ。農業資材は買えないが、代わりにココナツの繊維やバナナの葉に家畜のふんを混ぜて堆肥を作る。化学肥料には目もくれず、有機農業にこだわっていて、他国に類がないほどコミュニティ全体で熱心に堆肥作りに取り組んでいる。

一方、マヌファヒ県ではナタボラ農業学校と農家が組織する「自助グループ」が、堆肥を混ぜた土をプラスチックのポットに入れてコーヒーの苗を育てている。農薬は一切使わない。有機肥料によるコーヒー生産で農家の収益が増えたため、農家は野菜の栽培も始めた。

東ティモールは2002年に独立したばかりの新しい国で、若者の人口が多い。天然資源を除く輸出の90%を占める有機コーヒーと若者の力が国づくりに貢献している。



撮影：三浦 喜美男（元東ティモール農林水産省専門家）

あなたの作品募集中！

「my photo」では、あなたが撮影した写真を募集しています。貧困や環境問題などをテーマにした写真、国内外問わず国際協力の最前線で活動に励む日本人や開発途上国の人の姿、テレビや新聞ではなかなか報じられない土地の風景や人々の暮らしなど、国際協力や途上国を身近に感じられる写真を、撮影時のエピソードを添えてご応募ください。応募作品の中から毎号1枚、本コーナーで紹介させていただきます。

応募条件 ①応募者本人が撮影した作品に限ります。②被写体に関する肖像権は、応募者の責任において了解が得られているものとします。③写真は、解像度が300万画素以上(目安)で撮影されていること、また画像の記録形式はJPEGを推奨します。

応募方法 お名前、連絡先(電話番号とEメール)、エピソード(300~350字)、記名の可否をご記入の上、写真と共に応募先アドレスまでEメールでお送りください。
*応募作品は本コーナーの他に、事前確認の上でJICAの広報活動に活用させていただく場合があります。ご記入いただいた個人情報はこちら以外の目的では使用いたしません。また、応募作品はご返却いたしませんので、あらかじめご了承ください。

応募 / 問い合わせ先

jica-photo@idj.co.jp

〔mundi〕編集部宛